

平成 24 年 11 月 13 日

## 人口減少社会に対応したコンパクトで 活力のある郊外部のまちづくりについて

横浜市長 林 文子

首都圏では、地域によってばらつきはあるものの、遅くとも 2020 年には人口のピークが訪れ、以降、総人口は減少していくことが予測されています。

とりわけ、生産年齢人口は一貫して減少し、2000 年には約 2,936 万人だった生産年齢人口が、2050 年には 1,975 万人と、50 年間で 1 千万人近くも減少すると予測されています。一方、高齢人口は、619 万人から 1,348 万人と、2 倍以上増加するため、高齢者 1 人を支える生産年齢人口は、4.75 人から 1.46 人と、約 1/3 になることが予測され、財政面への影響も懸念されます。

このような少子高齢社会の進展は、全国と比較しても首都圏において急速に進んでおり、とくに郊外部の多くの住宅地や大規模団地において、空き家・空き店舗の発生や、医療・福祉機能の不足、活力の低下等の課題が現れつつあり、今後、大きな課題となっていくことが考えられます。

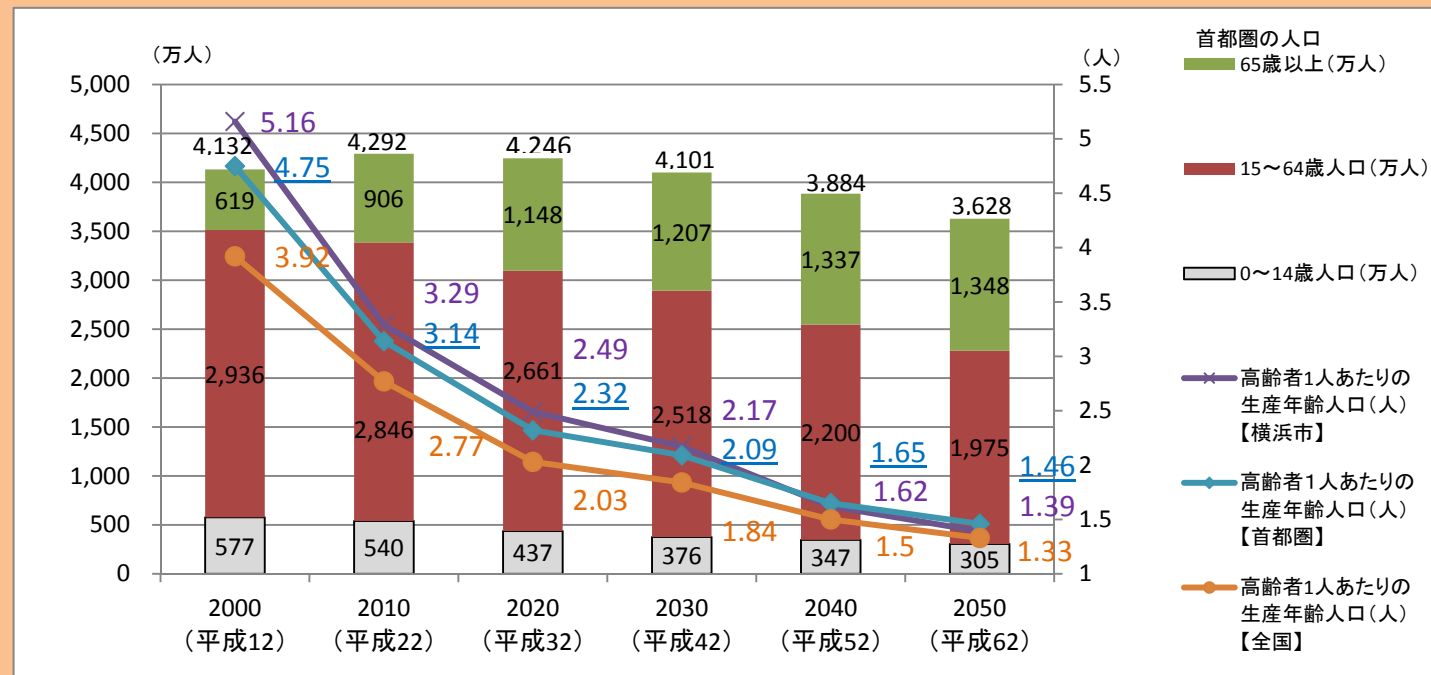
また、人口減少に伴う郊外部の地域コミュニティの希薄化や、高度経済成長期に急速に整備された多くの大規模団地や都市インフラの老朽化についても、大きな課題となっていくことが考えられます。

これらの首都圏に共通する諸課題に対応していくためには、とくに郊外部において、快適で利便性の高いコンパクトなまちを形成し、持続可能な都市づくりを進めていくことが必要であると考えます。

については、今後の人口減少や少子高齢社会の進展を踏まえた、コンパクトで活力のある郊外部のまちづくりについて、諸課題の共通認識を深め、解決に向けた取組事例の共有や国の制度化などに向けて、共同して検討することを提案します。

## 1. 人口の推移

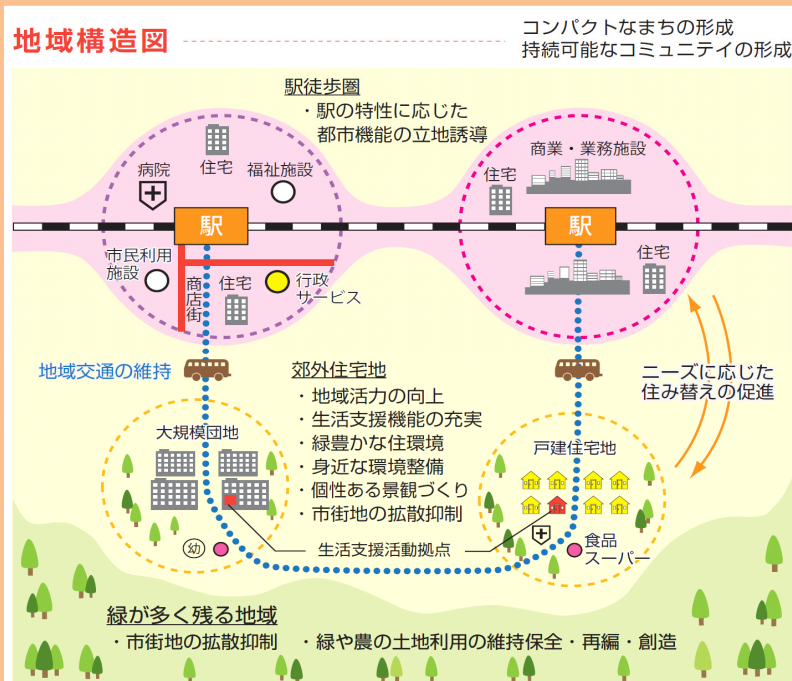
### 首都圏の人口の年齢別長期予測と高齢者1人あたりの生産年齢人口



資料：<首都圏人口> 国土審議会政策部会長期展望委員会「国土の長期展望」中間とりまとめ 資料(国土交通省国土計画局)より  
<全国の人口データ> 国勢調査、「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)(全国)」(国立社会保障・人口問題研究所)

## 2. 横浜市中期4か年計画(2010~2013)における位置づけ

### 施策16：コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり



#### 課題

- ・市民一人ひとりの生活圏の充実
- ・人口減少・少子高齢化(急激な高齢化)への対応
- ・都市の魅力・活力づくりと豊かな地域コミュニティの形成
- ・大規模団地や都市インフラの老朽化
- ・効率的な都市構造の実現

#### 目標

駅前などの拠点と緑豊かな郊外住宅地を地域交通等につなげ、快適で利便性の高いコンパクトなまちを形成し、市街地の拡散を抑制しつつ持続可能な都市づくりを進める。

## 3. 持続可能な住宅地モデルプロジェクト

### 環境未来都市計画における位置づけ

平成23年12月22日：横浜市は環境未来都市に選定  
提案内容：環境問題だけに限らず、超高齢化社会に対応し、かつ、都市の創造性を発揮して活力を生み出す、バランスのとれた豊かな都市、すなわち「誰もが暮らしたいまち」「誰もが活力あるまち」を作り出すことを目指している。また、それらの成果を国内外に向けて普及展開することで、経済の活性化につなげる。  
○その主要事業として、「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」を掲げ、「郊外部の暮らしの快適さと中心部の魅力・利便性が一体的に享受できる

### モデルプロジェクトの概要

民間事業者(鉄道事業者、開発事業者)や大学等幅広い主体と連携することにより、取組内容を広げ、地域課題の解決を進める。  
青葉区:東急田園都市線 たまプラーザ駅北側地区(東急電鉄・横浜市)、磯子区洋光台駅周辺地区(UR都市機構・神奈川県・横浜市)、緑区十日市場地区(横浜市)

### たまプラーザにおける東急電鉄株式会社と横浜市の取組み

#### 【次世代郊外まちづくりの推進に関する協定】(平成24年4月)

- 「目的」  
郊外住宅地における様々な課題の顕在化への危機感を共有し、次世代へ引き継ぐまちづくりを共同で推進
- 「取組事項」  
①地域の交通、医療・介護、子育て支援をはじめとする暮らしやコミュニティを支えるインフラ・ネットワークづくりに関する事項  
②老朽化団地・戸建て住宅地の再生等に関する事項  
③環境重視のまちづくりの推進に関する事項  
④防犯・防災対策の推進に関する事項 など

#### 取組イメージ



#### キックオフフォーラム

取組のスタートと位置付けたフォーラムを開催

- Re:郊外  
～発想の転換と市民の行動で郊外は魅力的に生まれ変わる!～
- 講演会とパネルディスカッション

平成24年7月14日開催  
場所：プラーザホール  
参加：約200名



#### 住民ワークショップ

まちづくり構想策定のためのワークショップを開催

- ・まち歩き
- ・まちが魅力的になるアイデア出し
- ・市民・企業・行政のコラボレーションを具体的に考える

平成24年10月~25年3月  
場所：プラーザホール他  
参加：約100名(全5回)

